

日本天文学会 公開講演会

未知の宇宙を 探査する

～惑星探査とブラックホール～

講演

1

13:35

14:35

小惑星探査機「はやぶさ2」が明かした 太陽系の初期進化



講師: 杉田 精司

東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 教授

「はやぶさ2」は2018年6月に小惑星リュウグウに到着し、C型小惑星の全球詳細観測、2度のサンプル採取、人工天体衝突など数々の世界初の科学任務を終え、翌年11月に小惑星を離脱しました。2020年12月には地球にサンプルカプセルの大気再突入に成功し、世界初のC型小惑星の試料を人類に届けました。本講演では、「はやぶさ2」の観測や試料分析が明らかにした太陽系の初期進化の最新成果を分かり易く解説するとともに、「はやぶさ2」を追いかける米国の小惑星探査機OSIRIS-RExとの競争についてもご紹介します。



小惑星リュウグウ
画像提供: JAXA/東京大/高知大/立教大/名古屋大/
千葉工大/明治大/会津大/産総研

講演

2

14:55

15:55

電波望遠鏡で見る 未知の天体ブラックホール



講師: 本間 希樹

国立天文台水沢VLBI観測所 教授

2019年、国際プロジェクトのイベント・ホライズン・テレスコープは、楕円銀河M87の中心にあるブラックホールの写真を公開しました。写真にはドーナツのような構造が写っており、その中心に「ブラックホールの影」がとらえられていました。また2022年には、天の川銀河の中心にあるブラックホールの写真も公表され、M87と同様の姿が写し出されました。本講演では、同プロジェクトのメンバーである講師が、電波望遠鏡によって得られたブラックホールの写真についてわかりやすく解説し、今後の展望についても紹介します。



イベント・ホライズン・テレスコープが撮影した
M87のブラックホール (EHT Collaboration)



2025 9.13 (土) SAT

13:30 → 16:00 (開場13:00～)

会場 下関市生涯学習プラザ 大ホール
●下関市細江町3-1-1

対象 / 中学生以上・一般向け
参加費 / 無料



[主催] 公益社団法人 日本天文学会
[後援] 国立大学法人 山口大学、公立大学法人 周南公立大学
お問合せ / 日本天文学会公開講演会現地実行委員会
TEL.083-933-5973